

令和7年度 第3回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立 金岡 高等学校
校長名	西田 悟

開催日時	令和8年1月28日(水)14:00～15:30
開催場所	大阪府立金岡高等学校 会議室
出席者(委員)	山東委員、田原委員、西村委員、西川委員、佐藤委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席(2名)、生徒指導主事兼保健主事、進路指導主事(キャリア・サポート部長)、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度学校経営計画及び学校評価(案) ・令和8年度学校経営計画及び学校評価(案) ・令和7年度分掌学年等の年間計画 達成状況 ・令和7年度学校教育自己診断集計結果および第2回授業アンケート集計結果
備考	

議題等(次第順)

- 1.令和7年度学校評価の達成状況について
- 2.令和8年度学校経営計画の目標設定について
- 3.教員の授業その他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. 本年度の学校経営計画の達成状況および次年度の設定目標の説明

(1)令和7年度学校評価の達成状況について

○今年度は「探究活動」と「親身な指導」を軸に、生徒の肯定感や進路実績が大きく向上している。
 学習面では、参加型授業や企業課題へのプレゼンを導入した。1学期中間考査をなくすことで、生徒・教員の評価に対する考え方が改まるとともに、学校全体の学力指数が上昇し、特に1年生においては効果が表われた。また、今年度は難関私立四年制大学合格者数も昨年度を上回っている。

生徒指導面では、生徒指導室の設置による「見える化」と全教員による声掛けを徹底し、挨拶や交通マナー、遅刻防止などの生活規律に、生徒・教員ともに意識の改善が見られた。

(2)令和8年度学校経営計画の目標設定について

○次年度は今年度の成果を継承し、教育活動では、生徒がより主体的に取り組めるよう探究活動のテーマ設定を工夫し、部活動加入率60%を目標に学校の活性化を図りたい。また、新たに「労働安全管理体制の充実」を掲げ、教職員の長時間勤務削減を行いつつ、教育の質の向上をめざす。

地域連携においては、近隣の中学校への出前授業(書写)やHPによる他の高校とは異なった視点で情報発信を引き続き行い、交通マナー指導の徹底や、同窓会と連携した卒業生のネットワーク構築を通じて、地域に愛され選ばれる学校づくりを推進していく。

2. 本年度の取組の達成状況と学校評価および次年度の学校経営計画策定についての質疑・意見交換および承認について

○道路交通法改正に伴う自転車への交通反則通告制度(青切符)の導入を控え、生徒への交通安全指導の徹底を求める意見に対し、学校としても安全指導体制を強化する方針を確認した。

○生徒が訪ねやすいような生徒指導室のイメージの刷新をしてはどうかとの提案があった。

○本校の特色について、「探究活動」を軸とした進路指導について、「親身な指導」こそが本校の最大の売りであり、当たり前前を当たり前にする指導を継続してほしいとの助言があった。

○同窓会より卒業生のデータ登録数が伸び悩んでいる現状を受け、委員より「さくら連絡網」等を活用した保護者に対する周知への協力が提案された。

○教職員の業務持ち帰りの実態について、個人情報を持ち出しを厳禁しているため、持ち帰り残業は基本的にはないが、残業の原因としては、土日の部活動指導が現状の主なものと考えられると説明した。

○本校の生徒指導案件5件との報告に対し、極めて少ない水準ではある。ただし、新たな環境を迎えた4月に生徒指導案件が起きやすいこと、5月以降は落ち着いて学校生活を過ごしていることを説明した。

○自習室の開放状況や視聴覚室の改修予定について確認が行われた。

○志願倍率が大幅に上昇した要因について、説明会の拡充や生徒会役員の積極的な協力など「開かれた学校づくり」の成果によるものであること。さらに、今後も食堂の魅力発信などを含め、選ばれる学校づくりを推進していきたいことを説明した。

→本年度の取組の達成状況と学校評価および次年度の学校経営計画策定について、委員全員の承認を得た。

3.教員の授業その他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議について

○0件より審議事項なし

次回の会議日程

日時	令和8年6月10日(水)14:00～15:30
会場	大阪府立金岡高等学校 会議室